

# ■ ICTでナビゲートする環境にやさしい社会特集によせて

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

NECは2008年4月に「NECグループビジョン2017」を策定し、「人と地球にやさしい情報社会をイノベーションで実現するグローバルリーディングカンパニー」を目指すことを宣言しました。このたびグループビジョンの実現に向けた取り組みについて皆様にご紹介するため、「ICTでナビゲートする環境にやさしい社会特集」を発行することとなりました。本特集では、環境にやさしい社会の実現に向けてどのようにNECが貢献していくと考えているのか、そのコンセプトと製品・ソリューション開発の具体的アプローチについてご紹介いたします。

地球温暖化問題が今や世界的な重要課題となり、主要国首脳会議では必ず議題に上がるほどになっています。しかしながら、経済発展と地球温暖化防止が相反する現状では、先進国と新興国との意見には大きな隔たりがあり、交渉は難航することが懸念されています。このまま世界の温室効果ガスの排出抑制が進まず地球温暖化が進展すると、大規模な気候変動が起こると予想されています。「温暖化による気温上昇を2℃以下に抑えるべき」というのが今や世界のコンセンサスとなっています。地球温暖化問題をめぐる国際会議の場では、先進国は2050年までに80% CO<sub>2</sub>を削減すべきだという意見も出ていますが、今の社会システムの延長では80%ものCO<sub>2</sub>を削減することは困難です。何か大きな社会変革を起こさなければ実現できない数値であることは、間違いないありません。

一方、世界経済に目を向けるとサブプライムローン問題に端を発した金融危機が世界市場を席巻し、また石油価格の乱高下は石油依存社会に対する危機感を増大させました。その結果多くの人々は、地球温暖化問題に対する理解も大きく変わってきたと感じています。エコカーや省エネ家電などの人気にも見られるように、製品・サービスの基本的な性能の向上だけではなく、“環境性能”的な差異化

が大きな競争力となっています。近い将来、製品性能の向上だけを追求する製品やそれを作る企業は、厳しい局面を迎えるかもしれません。このように市場が地球環境問題を軸に大きく遷り変わろうとしている変革期の今こそ、地球温暖化に抜本的に取り組んでいくべきであると考えています。

我々はその解決策の1つとして、ICT(Information and Communication Technology)の高度な利活用が鍵になると考えています。ICTの普及は、関連するハードウェアの消費電力を増加させることになりますが、一方で生産の効率化・物流(移動)の効率化・家やビルのエネルギー・マネジメントにより、省エネルギーを実現することができます。ICTを活用することは、エネルギー消費の効率化と地球資源の有効利用で低炭素社会の実現に貢献できるだけでなく、持続可能な社会を実現することも可能だと考えています。また、それはICTの高度な活用なくしては実現できないと確信しています。

NECでは、弊社で製造するIT機器の省エネ化を推進し、2010年に2005年比で60%の製品を省エネ化させる目標を掲げて取り組み、着実に成果を上げています。ICTの高度な利活用については、あるべき社会の姿を表現した本特集のタイトルにある「ICTでナビゲートする環境にやさしい社会」という環境事業コンセプトを掲げNECで取り組みを始めています。

本特集では、「ICTでナビゲートする環境にやさしい社会」に向けて取り組んできた最新の技術や製品開発の成果をご報告いたします。これから的生活や働き方、更に社会がどうあるべきか、そこにICTがどう貢献でき、NECはどのような製品・サービスの開発に取り組み成果を上げているのか、それらの内容を通してNECが目指している事業コンセプトをご理解いただければ幸甚に存じます。

NECは、グループの叡智を集結し、「NECグループビジョン2017」の実現に向け先進的な環境技術の開発に積極的に取り組み、環境性能の高い革新的な製品・サービスを提供し続けていきたいと考えています。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



取締役 執行役員常務 岩波 利光

執行役員常務 福井 雅輝